

- 2 コロナに負けない！
- 3 必要とされる事業だから
- 4 新しい仲間 サポートベリ

## 労働者協同組合法 制定間近

# 地域に必要な仕事を起こしてみんなで働こう

2020年6月12日に国会の与野党全会派の議員により労働者協同組合法案が衆議院に提出され、次の国会で成立する見込みとなりました。

出資し、事業を行い、労働する人々がつくる働く人の協同組合を規定する「労働者協同組合法」は、多様な就労の機会を作り、地域のニーズに応える非営利事業をすすめ、持続可能で活力ある地域社会の実現をめざします。



法制化フォーラム in 所沢  
2018 年 12 月 所沢ミューズにて

### 人のくらしを豊かに

日本で最初のワーカーズ・コレクティブが神奈川県で設立されたのは 1982 年でした。その後全国に拡がり現在 400 団体、1 万人となり、埼玉では 44 団体、500 人のメンバーが地域で事業を行っています。

1 人ひとりが出資し、事業を運営し、労働もする協同組合の手法で事業をするワーカーズ・コレクティブの特徴は、民主的な運営、たすけあい分かちあいの精神、事業を利用する人を含めた地域、環境など他者に配慮することなどです。地域ではお弁当屋さんや生協業務の受託事業等、様々な業種・規模の事業が行われ、その設立趣旨には、安全性の高い食材を使い社会に広めたいなど、よりよい社会を実現するための目標が込められています。

### 法制化への期待

ワーカーズ・コレクティブの働き方にあう法律を求める活動は 1989 年から始まりました。

ワーカーズ・コレクティブは、リーダーはいるがボスはいない、民主的な組織です。資本家の儲

けを目的とした、効率を優先する企業活動とは異なる非営利の市民事業ですが、準拠する法律がありませんでした。

労働者協同組合法制定を機会に、協同労働が広く知られ、企業に雇われるだけが働くことなく、働く場の選択が増えることが期待できます。経営不振の企業の再建や、行政や企業からの受託事業をこの法人で運営するなど多様な働く場の実現が可能です。

### ワーカーズ・コレクティブとしてどう使うか

この法律では組合が、組合員と労働契約を結ぶことが明記されています。働く人の権利を守る労働基準法に準拠するためです。労働基準法は雇用関係が前提であり、本来皆が平等で代表も代わりあう協同労働の組織にあてはめる難しさがあります。小さな事業所には経営への負担も大きくなるものです。事業所ごとにこの法人格取得が可能かを見極める必要があります。

それでも、法制化されることでこの働き方が広まり、多くの人や地域に希望が生まれると期待しています。

会長 加島 厚子

# コロナに負けない！ 必要とされる事業だから

新型コロナウイルス感染症が拡大し、私たちは経験したことのない感染症予防対策を強いられています。これにより閉店する店や、事業を縮小する企業が相次ぎ、また感染の危険のなか必要とされるものやサービスを届ける人たちもいます。ワーカーズ・コレクティブの仲間の状況を報告します。

## コロナ禍の学童

輪っはっは



感染予防に気を配りながらの「わくわくクラブ」

### 預かる責任を負い、手探りの日々

所沢市からの委託を受け、放課後児童クラブ「わくわくクラブ」を始めて3年目になる今年の春は、コロナの感染の広がりを気にしつつ、新年度に向けた準備をしていました。そんな中、休校のニュースが飛び込んできました。小学校より濃厚な接触の多い児童クラブも休所になるのではないかという予測は見事に外れ、朝から夕方までの開所を求められました。

3月2日より1日保育が始まりましたが、児童のマスクの着用も「できるだけ」というお願いレベルで、十分な感染対策はできていませんでした。その後、次第に預かれる条件は狭まっていき、4月15日からは臨時休所となりました。仕事を休めないエッセンシャルワーカーのための特別保育は、わくわくクラブではほとんど利用がありませんでした。休所中は、市役所や保護者への連絡が主な業務でした。

5月21日に学校の分散登校が始まったのと同時に、わくわくクラブも再開し、今は通常の預かりになっています。消毒や手洗い、マスクの付け方、友達との距離など常に目を配っています。テーブルに仕切りのテープをつけ、できるだけ定位置で過ごすようにしています。国や市からの補助があるので、一人で楽しめる本や、パズル、絵や工作の材料を増やしました。

子どもたちが、子どもらしく普通に過ごせる日が1日も早く来ることを願いながら、手探りの日々が続いています。

企業組合たすけあい輪っはっは 白土淳子

## フードパントリーでつながりあい、助けあいたい

てとて



寄せられた食品を袋に小分けし、屋外でお渡しする

### コロナ禍で困っている人がいる

「自分のバイトで生計を立てているが、コロナ禍で仕事量が激減し困っている」というひとり親の方のメールから始まったフードパントリー（必要とする人々に食品を無料で提供する活動やその拠点）。5月から9月まで毎回30世帯を超えるご家庭（半数以上がひとり親世帯）に、食材（7回）やお弁当（2回）をお渡しすることができました。

コロナ禍で、みんなの居場所「わ〜くわっく北本」は閉所、介護保険制度外の家事支援サービスや福祉有償運送は最低限の対応のみを行い、こども食堂は開催を見送っていました。

さいわいこども食堂は開始から4年がたち、埼玉県や全国組織のこども食堂ネットワークとの連携ができていたので、この時期行き場を失った給食の食材やたくさんの業者から提供品を受け取ることができました。行政や地域の方々の協力、新しいつながりも生まれ、多くの支援でフードパントリーの開催を継続しています。

回数を重ねていくと、色々なお困りごとを抱えている方がいらっしゃることもみえてきました。コロナ禍で生活困窮状態にある子育て世帯、障がいを持つシングルマザーの方、父親の入院やシングルマザー本人の入院など、見えづらい生活困窮状態にある人が私たちの周りに存在することを知りました。今後もこのつながりを大事にし、これからも地域の小さな声に耳を傾けられるてとてでありたいと強く思っています。

NPO法人ワーカーズコレクティブてとて 邨山真理



## 地域の信頼にこたえ、 事業を継続する

### 青いそら



市民の手作り作品の展示会を開催

### 様々なアイデアで日常の食事サービスを継続

青いそらは、三郷市文化会館内のコミュニティレストラン、配食、介護保険外の生活サポートを事業としています。

新型コロナウイルスの感染拡大により3月14日から市の全公共施設は臨時休館になり、当店のレストランも休業を強いられました。

一方高齢者や障がいがある人の配食は続けていましたが、ある日三郷市より『公共施設は臨時休館の為、配食の中止』の要請がありました。地域の一人暮らしの高齢者の方々の配食であり、中断することはご利用者の死活問題となると説明し、継続する事が出来ました。

イベント中止により仕事は激減しました。そこで、学校の休校で自宅にいる子供たち向けのテイクアウトのカレーやピラフを販売しました。売り上げより、仕事を作り出し、メンバーのモチベーションを落とさないことを目指し安価で提供しました。感染予防を行い、店舗の入り口付近を売り場としました。

6月にはレストランを再開し、感染対策（換気・定員椅子半減・アルコール消毒・マスク等の徹底）を実施し、セルフサービスとしました。価格も大きく見直し安価で気軽に食事が楽しめ、テイクアウトもできるお店としました。

しかし、人と人の交流を目的とするコミュニティレストランの機能は発揮できない状況です。そこで地域の人々の手作りの作品を店内に展示する展示会を開催しました。次々と展示希望があり、店内の壁面は市民ギャラリーとなりました。

配食について、継続を心配してくださる地域の方々もあり、日常食としての配食は、継続が使命であることをあらためて実感しました。

NPO法人ワーカーズ・コレクティブ青いそら

宗田 浩治

## 僅かな望みの持続化給付金対象から除外された **人格なき社団**

埼玉のワーカーズ・コレクティブの約 3 割が、ふさわしい法人格がないこともあり人格なき社団\*として事業を行っています。この状況下で人格なき社団が給付金の対象から外されたことに対して、連合組織として、給付金対象範囲を拡大することを求める声を上げています。

### 感染症拡大の波を何とか乗り切る

2 月以降、新型コロナの怖さ、特に高齢者や持病のある方の重症化などの報道から、常連客の方々はもとよりメンバーにも厳重に感染予防が必要と、身の引き締まる思いでした。

折も折「ワーカーズ・コレクティブ全国会議 in 愛知」で紬は役割を担い 3 名で参加することとしていました。危険を承知、家族の反対を尻目に新幹線で名古屋に行き、全国会議から戻った自分たちも感染の可能性があるため、来客の安全を考慮して 2 月末から休業しました。利用していた施設が使用できなくなったため毎回賑わっていた出張ミシンカフェは 6 月まで休眠、毎回 10～15 名参加がある人気の歌カフェも、感染度が高いため早々に中止としました。

### 給付金対象外とされ、事業者として憤る

休業は互いの安全のためとは言え即減収で、8 万円の家賃が重く、持続化給付金や休業補償制度が頼りでした。ところが、パソコ

ンで給付申請をしようと法人番号を何度入力しても受付られません。埼玉ワーカーズ連合会からの情報で「人格なき社団」は給付対象になっていないことを知らされました。私たちは「みなし法人」ともいう法人格なしで事業を行う組織ですが、それは、働き方に合う法人格が現状の日本ではまだ無く、しかし社会的責任ある事業体として納めるべき税はきちんと納める地域貢献型団体としての自負を表現するものでした。

この理不尽に埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会をはじめ WNJ が動き、国会議員から中小企業庁に働きかけがなされていることは連合している成果であり、心強く今後に期待しています。

ワーカーズ・コレクティブ 紬 清水悦子

\* **人格なき社団**：多数の者が一定の目的を達成するために結合した団体のうち法人格を有しないもので、単なる個人の集合体でなく、団体としての組織を有し統一された意思の下にその構成員の個性を超越して活動を行うものをいう。収益事業に課税される。

2020年6月にワーカーズ・コレクティブとして設立したサポートベリ。ベリはおしゃべりのベリ。地域の課題を仲間と起こした事業によって、解決することをめざしています。

## これは自分の問題！

2040年は日本の高齢者人口（65歳以上）がピークになるといわれています。その時、介護保険はどうなっているのでしょうか。今でも介護認定を受けて介護保険を利用している高齢者は平均で十数パーセント、使っていない人が80%以上です。流石に85歳を過ぎると利用している人は60%前後に跳ね上がりますが、それでも約4割の高齢者が介護保険を利用していないということになります。待てよ、私は85歳を過ぎて、介護認定で自立と判断されても、誰の助けも借りずに生活できるのだろうか。そうした疑問がふつふつとわいてきます。我が家は夫と2人暮らし、そのうち確実にどちらかが一人暮らしになります。高齢者人口がピークになる2040年には、私たちはちょうど85歳を過ぎているのです。

## 必要な事業だから、必ず継続させる

2017年に生活クラブ生協の福祉基金「エッコロ基金」に応募して生活クラブ生協小川支部が「可能な限り住み慣れた地域で生活クラブの安心な消費材を食べ続けるための町づくり」のアンケートを行いました。その報告書をNPO つばさ游がまとめ、見えてきたことは、送迎・家事支援・草取りのニーズが高いことでした。その受け皿づくりが重要と考えました。これは、まさに他人ごとではない自分たちの問題なのでした。



アンケート結果報告書

昨年2019年度は、生協支部チャレンジ「住みよいまちづくりのための連続学習会」で、先進地の千葉県稲毛や江戸川ほとと館に見学に行き、埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会の先輩ワーカーズ「てとて」「こうさてん」からは実際の事業などいろいろ教えていただき、移送サービスの学習会を行いました。仲間と共に

学び、2020年6月にNPO つばさ游の福祉部門として仲間8人でワーカーズコレクティブサポートベリを立ち上げることができました。新型コロナウイルスの影響もあり、まだ依頼はありませんが、地域に必ず必要なサービスで、将来自分たちも必要となるものなので、必ず継続させて、地域になくしてはならないものにしていきます。

NPO 法人つばさ游

ワーカーズコレクティブサポートベリ 森田緑

## 埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会 事務所移転のお知らせ

2021年1月より、下記住所に事務所を移転します。  
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

〒336-0017

さいたま市南区南浦和2-22-7ベルダ薬局2F

TEL 048-844-0221



埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会 情報誌 WAVE68

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋1-5-3 ひゅうまんポスト2F

電話/FAX 048-844-0221

E-mail [saitama.waakore@gmail.com](mailto:saitama.waakore@gmail.com)

HP <http://saitama-workers.com/>

企画編集 埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会 1部 ¥100